

平成28年度 横浜市長浜ホール 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

I 文化事業目標	評価項目	指定管理者提案(要旨)	H28年度計画		実施状況		評価				
			達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価			
1 旧細菌検査室等建築物の保存・管理・公開及び価値の普及並びに野口博士の功績紹介		旧細菌検査室の公開による広く一般への紹介をベースに、保存会との共催事業、地元小学校との連携事業、野口英世博士の功績紹介事業によって、保存する価値の最大化を図り、施設の認知、イメージ、他施設との差異といったブランディングに貢献する事業と位置付けて展開します。	旧細菌検査室等建築物の適切な保存・管理・公開	実施	達成	展示物・備品類の鑑賞物としての保存・管理の達成	達成	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野口英世博士の功績を適切に紹介するため旧細菌検査室の公開実務は指図に順じて実施。一般の見学の他、地域の高校の社会科見学等にも利用され、広範囲な年齢層に向けての情報発信を実現。</li> <li>多角的な野口英世像を提示するため文学座の協力を得、野口英世フェアにおいて実施した。博士を題材にした昨年の公演の映像鑑賞会は、見込み人数を上回る来場を達成。</li> <li>野口英世博士について子ども達に知ってもらうために始めた手紙コンテストは、結果的に子ども達の細菌検査室の来場を促し、前年度を大幅に上回る212通の応募を獲得。</li> <li>顕微鏡で世界的に有名になった野口英世博士にちなみ、顕微鏡によるミクロの体験へ小学生を誘う教室を検査室保存会と共同で開催。同日一般公開の横浜検疫所とも協働して検査資料館見学ツアーも実施。定員を上回る応募を獲得し、うち定員30名の参加を得るが、当日申し込んでいない兄弟を同行した参加者があり、それについても現場判断で参加を認める。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野口英世博士の知らざる一面をさらに紹介することで、さらに施設について興味をいだいてもらい、施設価値のブランディングの深化を図る。</li> <li>野口英世と当施設について、日頃のアンケートやヒアリング、区民施設連絡会等の場等で、現在区民が抱えているイメージを具体的ににつかみ、今後のイベント実施に向けた材料とする。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設と深いゆかりのある、野口英世博士の功績を紹介する事業の継続を評価します。特に「野口英世博士への手紙コンテスト」及び猪苗代体験学習の事業継続など、様々な市民や子どもたちを対象とした事業を行うことにより、野口博士を知る機会の提供に努めていることを評価します。</li> <li>小学校3校への「検査資料館見学ツアー」の実現が困難となった際に事業を見直し、「夏休み子ども体教教室」において野口英世細菌検査室保存会とともに横浜検疫所にある検査資料館見学ツアーを実施したことを評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧細菌検査室や野口英世博士の功績の発信による施設の周知や認知度の向上という点を鑑み、検査資料館に限らず、市内の小学校や中学校へ旧細菌検査室等の見学の働きかけを現状以上に積極的にを行い、認知度向上に寄与することを期待します。</li> <li>「野口英世フェア」等の野口英世博士の功績を紹介する事業のターゲットとして、長浜ホールへ初めて来館する方やこれまで野口英世博士に大きな関心を寄せていなかった市民を取り込むための事業実施や情報発信等について、引き続き検討を進めてください。</li> </ul>			
			旧細菌検査室の一般公開	実施	達成	一 公表している時間帯通りの一般公開の達成	達成				
			公開時間:9時~17時	実施	指標に準じ達成		達成				
			公開日:ホールに準じる	実施	指標に準じ達成		達成				
			野口博士の功績紹介	年1回実施	野口英世フェア11/8(日)の実施達成		達成				
			●【野口英世生誕140周年祭】の事業実施								
			□利用者アンケート満足度(「とても良かった」「良かった」等アンケート5段階中2番目までを満足とする) (※満足度の定義は以下同様)	70%以上	舞台映像鑑賞会の満足度 72.8%		達成				
			●【野口英世博士への手紙コンテスト(猪苗代体験学習)】の事業実施	年1回実施	手紙コンテスト(夏休み自由課題)と体験学習(10/29・30)実施の達成		達成				
			旧細菌検査室保存会との良好な関係の構築と共催事業の実施	年1回実施	夏休み子ども体教教室8/20実施の達成		達成				
			●【夏休み顕微鏡教室】の共催								
			□参加総定数	30人	参加人数31人		達成				
			●小学校への「検査資料館見学ツアー」の提案	3校	検査資料館公開日(8/5)が夏休み期間中で小学校への提案が困難		達成				
			□参加学校想定数								
			2 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会提供及び地域コミュニティ形成・社会的包摂の推進	上質の本物の文化芸術に接する機会と、積極的に地域に歩み寄り、市民が主体的に文化芸術に関わり活動するための機会を創出し、「Community GOOD」の精神で、地域と一体になって、市民の想像力を底上げする事業展開を計画します。	音楽を中心とした文化芸術の鑑賞機会の提供	年4回実施	6/19・9/24・12/18・3/11開催の達成			達成	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本格的なクラシック音楽を市民に提供する機会の創出のために、津奈川フィルの元コンサートマスター、七澤清貴氏を中心として「みず色の風コンサート」を年4回実施。なじみのあるアトクラシック等と比べベートーヴェンの弦楽四重奏曲などプログラムによっては集客が少ないケースもみられる。</li> <li>シャンソンコンサートの出演者が急病のためコンサートが出来なくなり、その代わりに次年度よりワークショップ講師をお願いするゴスペルシンガー・金井恵理花氏にコンサートを依頼。シャンソンワークショップ参加者にもチラシを送るなど告知活動を行った。集客は今一つであったが、次年度ワークショップに向けての布石とする。</li> <li>創作活動の機会の提供及び地域コミュニティ形成の一環としてシャンソンワークショップを実施。前述のように講師の急病もあり受講者も目標の半分にとどまり、次年度以降の存続は困難。シャンソニーズの低下を実感。</li> <li>創作活動の機会提供及び地域コミュニティ形成の一環としてゴスペルワークショップを企画。講師のスケジュールにより、ワークショップは次年度からの開催に決定。</li> <li>子育て世代への施設認知拡大のために開催した「親子ゆったり。クラシックコンサート」は本格的なクラシックのバイオリニストに出演を依頼、乳幼児と一緒に一流の演奏が聴けると子育て中の母親等に反響を呼び、集客は前年比42%の増加となった。</li> <li>金沢・区民のためのコンサート実行委員会との協働による「長浜ホール音楽祭」を開催。満足度も高く、アトクラシックを中心に楽しいコンサートとして定着。</li> <li>金沢区民活動センターに登録している団体や街の先生の紹介することを目的として「生涯学習フェスティバル」を開催。活動センターに留まらず、地域全体のフェスティバルにの金沢区地域振興課の要請があり、枠を広げ並木コミュニティハウス等の協力を得て開催。参加者満足度90%以上を達成。</li> <li>本年度より横浜芸術文化プラットフォーム事務局にコーディネーターとして学校プログラムに参画。小学生に施設の認知度UPとアーティスト派遣による授業を実施。オペラを中心としたプログラム、アフリカのトーキングドラムのワークショップ、ダンスプログラムで動物を造るワークショップの3件を実施。小学校に長浜ホールの知名度と質の高さをアピール。初年度のため利用者増にはつながらないが継続的な実施の必要性を感じる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い本格的なプログラムを重ねることで自主事業コンサートの来場者数の安定を図る。</li> <li>29年度事業ゴスペルワークショップの定着。</li> <li>ミッション③(地域と運動するためにサポーターを増やす) 達成を目的として地域団体との協働による自主事業コンサート増加の実現。</li> <li>指定管理関係施設との連携による効率的でハイレベルな自主事業コンサートの実現。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業を市民主体で協働することで施設の価値、魅力を高めることを目的に、職員とともにイベント活動を担う「長浜企画委員」の募集を実施。</li> <li>募集期間が2週間足らずということもあり応募者はゼロ。</li> <li>問い合わせもなく今回の募集内容では長浜企画委員の応募は困難と判断。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「長浜企画委員」に関して、第3期指定管理期間の初年度から実現に向けた取組を完了したことを評価します。応募者がなかったことに対しては、要因分析や今後の実現に向けた対応を求めます。広報手法の見直しだけでなく、利用団体や市民活動を行う団体への声掛け、区役所等への働きかけをより積極的に行うことにより、実施方法の改善を行い、次年度以降に実現できるよう進めてください。また、「長浜企画委員」や「長浜タウンミーティング」の実現により、文化的コモンズとして地域での存在感を高めることを期待しています。</li> </ul>
					●【みず色の風コンサート】の事業実施						
□集客人数	各回100人以上	第42回98人・第43回56人第44回81人・第45回78人				達成					
□満足度	70%以上	第42回100%・第43回69.2%・第44回95.0%・第45回94%				達成					
●【シャンソンコンサート】の事業実施	年1回実施	3/25開催の達成				達成					
□参加総定数	80人以上	54人				達成					
□満足度	70%以上	95%				達成					
●【親子でゆったり。クラシックコンサート】の事業実施	年1回実施	8/6実施				達成					
□集客人数	80人以上	95人				達成					
□満足度	70%以上	94%				達成					
●【シャンソン入門講座】の事業実施	年1クール実施	5/11・25・6/8・22・29/13以上6回実施の達成				達成					
□参加総定数	30人以上	11人				達成					
□満足度	70%以上	100%				達成					
●【ゴスペル・コーラス・ワークショップ】の事業実施	年1クール実施	-				達成					
□参加想定数	20人	-				達成					
地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進	年1回実施	10/1実施の達成		達成							
●【生涯学習フェスティバル2016】の事業実施											
□参加総定数	80人	649人		達成							
□満足度	70%以上	95.8%		達成							
●【長浜ホール音楽祭】の事業実施	年2回	5/25・10/15の実施		達成							
□参加者	毎回80名以上	第11回101名・第12回56名		達成							
□満足度	70%以上	第11回94%・第12回83%		達成							
●学校プログラムの企画立案の実施	3校	3校		達成							
□想定実施校数											
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成及び文化的コモンズの形成の牽引	歴史的建造物である建物・設備の価値・魅力を高める事業を市民協働で取り組み、歴史的価値を、地域のものとして高め、共有化を図り、歴史的遺産保存への理解と協力を得るため、協働の仕組み整備を目指します。	●【長浜ホール感謝祭2016】の事業実施	年1回実施	7/3実施		達成	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業を市民主体で協働することで施設の価値、魅力を高めることを目的に、職員とともにイベント活動を担う「長浜企画委員」の募集を実施。</li> <li>募集期間が2週間足らずということもあり応募者はゼロ。</li> <li>問い合わせもなく今回の募集内容では長浜企画委員の応募は困難と判断。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画委員の取組み内容や募集方法のブラッシュアップを図る。</li> <li>長浜タウンミーティングは長浜企画委員の発展的な段階ととらえ、構築への検討を重ねる。</li> </ul>				
		□満足度	70%以上	95%		達成					
		●利用者懇談会の開催	年1回実施	7/3実施		達成					
		●【長浜企画委員会】の設立と歴史的遺産の保存・継承の実践	実施	3/20~31募集実施		達成					
		●【長浜企画委員】として募集、事業の企画・運営を行う	実施	-		達成					
		●【長浜タウンミーティング】の設立とワークショップ形式による地域の課題解決	実施	-		達成					
●【長浜企画委員】の発展状態として検討											
●【金沢区民利用施設連絡会】への参加	年4回出席	9/29参加の達成		達成							

平成28年度 横浜市長浜ホール 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

項目	内容	H28年度計画		実績		説明	評価
		達成指標	目標	実績	説明		
4 広報・プロモーション活動、情報提供	情報発信と拡散のためのWebの展開	Webページからの情報発信	実施	達成	すべての自主事業・後援事業のホームページからの告知の達成	【成果】 ●施設の成り立ちの認知拡大のため、野口英世との関わりを直接の柱としたプロモーション展開を実施(野口英世フェア・野口英世博士への手紙コンテスト・猪苗代体験プログラム)。前年を上回るコンテンツ応募件数やイベント来場者を獲得。 ●自主事業において施設の特徴をアピールするため、野口英世博士に関連付けた事業プロモーション(事業チラシや事業プログラムでの検査室の紹介)を展開。 ●野口英世記念会、野口英世細菌検査室保存会の共催によるイベント実施、並びに広報ツールの共有、猪苗代体験プログラム等、プロモーション活動を実施することにより協働を達成。 ●幅広いツールによる広報活動をにらみ、チラシ、DM、他ホームページやツイッター、メールでの事業発信を実施。 ●事業認知の地域浸透を目指し、広報活動において地域メディア、他施設、横浜金沢観光協会等に協力を依頼、実践を達成。	【評価できる点】 ・ホームページやツイッターの活用等、例年の取組の継続を確認しました。また、事業のちらしに細菌検査室の紹介を入れるなど、事業だけでなく、施設の特徴について積極的に情報発信を行っていることを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・公演等の来場者数が目標を下回っている事業も多いことから、リピーターだけでなく新規来場者や特に若年層の獲得に向けて、新たな媒体を使用した広報についての検討を求めます。区民まつりや花火大会等の大規模イベントにて施設のPRを実施することは、広報効果が大きいと考えられるため、継続的な実施や拡充を期待します。 ・過年度から実施している広報の継続にとどまらず、広報手法の見直しや広報効果の分析を行う時期にきていると考えます。施設のみで実施するのではなく、指定管理者のノウハウを活用するなど、多様な広報手法を検討してください。
		■ホームページからの自主事業・貸借催しの告知の継続	実施	達成			
		■SNSメディアの活用	実施	達成	ツイッターによる必要な自主事業紹介の達成		
	施設の最大の特色で、歴史的財産である野口英世との関わりを広報・プロモーションの柱とします	■LINEを活用した情報提供への検索、利用ガイドラインの作成と公開の実施	実施	-	LINE活用の検討と検索の達成		
		■細菌検査室の紹介と自主事業の案内をクロスさせた広報展開	実施	達成	コンサートチラシやプログラムでの検査室紹介		
		■細菌検査室の紹介を入れた自主事業等の告知チラシ作成および届出、関連施設配布の実施	実施	達成	親子でゆったりコンサート・野口英世フェアの告知で実施		
自ら地域の中へ向かいリアルプロモーションを行います	■野口英世博士関係団体を通じたプロモーション展開	実施	夏休み子ども検査・野口英世フェアで実施	野口英世細菌検査室保存会・野口英世記念会と協働による野口英世フェアの実施			
	■猪苗代観光協会や野口英世記念会・野口英世記念館との連携によるプロモーションの実施	実施	達成	野口英世記念会制作のビデオの館内放映、猪苗代観光協会との協力による野口英世博士への手紙コンテストと猪苗代体験学習の実施、野口英世細菌検査室保存会との協働による夏休み子ども体験検査と野口英世フェア等			
5 文化事業実施にあたっての留意事項	横浜市の文化政策に沿うものとして若年層・子どもに向けた事業展開を行います。	区内の集客イベントでのPRの実施	実施	達成	10/15いきいきフェスタでの来場者へのチラシ配布(横浜金沢観光協会ブース内チラシ設置)		
		■花火大会や区民まつり(いきいきフェスタ)等イベント会場での施設スタッフによる来場者向けアピールの実施	実施	-	横浜金沢観光協会から区民まつりやその他の催事でのブースにチラシを設置するとの申し出があり、職員が赴くより効果的と判断したため未実施		
	上質な文化芸術の提供と同時に地域市民の直接参加の機会を提供します。	以下再掲	年1クール実施	-	C	調音室に時間をかけたため、本年度はコンサートを実施しワークショップは次年度からの実施で調整	
		●【みず色の風コンサート】の事業実施	年4回実施	<再掲>5/19・9/24・12/18・3/11開催	B		
●【シャンソンコンサート】の事業実施		年1回実施	<再掲>3/25開催	B	代替事業としてゴスペルコンサートを実施		
地域と連携し、社会的包摂の推進をねらったワークショップ型事業を行います。	●【親子でゆったり、クラシックコンサート】の事業実施	年1回実施	<再掲>8/6実施	B			
	●【長浜ホール音楽祭】の事業実施	年2回実施	<再掲>5/25・10/15の実施	B			
●【シャンソン入門講座】の事業実施	年1クール実施	<再掲>5/11・25、6/8・22・29、7/13以上6回実施	B				
●【生涯学習フェスティバル2016】の事業実施	年1回実施	<再掲>10/1実施	B				

II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	H28年度計画		実績		説明	評価	
		達成指標	目標	実績	説明		自己評価	行政評価
1 文化活動等への施設提供(貸出業務への取組)	利用者にとって使いやすい施設への提案	■利用者への効率的で公共性、公平性のある対応の実施	実施	達成	利用者本位と公共性、公平性の融合を目指した対応の実施	【成果】 ●すべての市民の利用を前提として公共性・公平性をふまえた上での利用者ニーズに対応する施設運営を実施。 ●確実な受付体制構築のため効率的な業務実施を踏まえ職員すべての予約システム習熟を励行。 ●ホール利用者のニーズを有効に生かすため舞台技術スタッフによる打合せを実施。 ●高齢者、障がい者に対する公平な対応の実施。 ●利用状況の毎月の集計・分析の実施と結果の職員間、及び横浜市担当部署との共有。 ●利用金額と付帯設備の機能維持、永年の施設管理で得た利用者ニーズをいかした対応等による会議室以外の施設の目標にそった利用率の達成。 ●利用団体育成の模索によるワークショップ開催やスタンプカード実施によるリピート利用促進への実践。  【課題】 ●ゴスペルコーラスワークショップ開催と新たな利用団体創出の模索。 ●会議室の利用率向上に向けての施策。 ●会議室のない運営を意識した取組の継続と深化。	【評価できる点】 ・利用者による公共性・公平性のある対応を行うとともに、安定的な人員配置を行い、適切に施設運営がなされていることを確認しました。 ・ホールや多目的ルームなど施設のメインの部屋が目標を達成したこと等により、利用者数が例年以上となったことを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・以前からの課題である会議室の利用率、目標及び昨年度と比較し低下している音楽練習室の利用率について、利用率の向上に向けた具体的な効果的な対策の検討が必要です。 ・今年度取組がみられなかった、自主事業のワークショップの参加者を利用団体へと育成することを今後実現し、新たな利用者の発掘や利用者の拡大に向けて積極的に取組むことを求めます。引き続き、多くの市民に愛着を持って利用されるよう、運営の改善の継続を進めてください。	
		■施設の特徴を活かした様々な使用方法の利用者への提案の実施	実施	達成	利用者の希望に施設の特徴を加味した提案の実施			
	2 利用許可における公共性・公平性の確保	■「横浜市市民利用施設予約システム」の運用による公共性・公平性の確保	実施	達成	システム及び予約センターとの連携による公共性・公平性維持の実施			
		■利用内容、利用日、開館時間等の公共性・公平性をふまえた調整の実施	実施	達成	利用内容の正確な把握と公平な開館時間設定の実施			
	3 適切かつ確実な受付業務体制の維持	■受付業務の随時見直しと利用状況に応じた適切で迅速な業務体制の維持	実施	達成	結果と振り返りに基づく業務見直しの助行と効率的な業務体制の実施			
		■「受付対応マニュアル」の整備	実施	達成				
		■利用状況に応じた人員の配備と柔軟な対応の実施	実施	達成	利用状況を把握して状況に合わせた効果的な人員配置の実施			
		a.「予約システム」を習熟した人員の受付への常備1~2名配備	実施	達成	全職員の予約システム習熟の達成			
	4 利用状況の集計・分析	b.経験豊かな職員と舞台技術スタッフの配置と催事運営や舞台利用へのサポートとアドバイザーの実施	実施	達成	週1回のホール利用相談の実施			
		c.高齢者や障がい者の方への受付対応の実施(筆談対応セット、眼鏡、車椅子の貸出等)	実施	達成	受付に筆談対応セットと眼鏡を配備			
■貸出業務改善への利用状況の定期的な集計・分析		実施	達成	業務改善をにらんだ利用状況の円滑な取組の実施				
■「予約システム」のデータによる利用状況の定期的な集計・分析の実施		実施	達成	予約システムのデータ及び手集計による利用状況の定期的把握と分析の実施				
5 利用率の目標	■モニタリング等での報告による横浜市担当部署との分析結果等の情報の共有の実施	実施	達成	毎月の横浜市担当部署との利用状況集計・分析結果の情報共有の達成				
	□ホール(利用時間コマ単位)	71%	71%	B				
	□多目的ルーム(利用時間コマ単位)	50%	51%	B				
	□会議室(利用時間コマ単位)	38%	25%	C	他の部屋と比べ業務を喚起しない施設であることが利用を妨げている			
	□音楽練習室(利用時間コマ単位)	80%	76%	B				
	長浜ホールを拠点とする新たな利用団体の創出	実施	達成	定期的なシャンソンワークショップ開催による定期的な利用団体創出の試みの実施				
	■定期的なワークショップの開催	実施	達成	シャンソンワークショップ開催による定期的な利用団体創出の試みの実施				
	■ワークショップの受講者を中心とした新たな利用団体の育成の実施	実施	達成	第3期用にルールを再調整しての導入の達成				
スタンプカードの継続導入	実施	達成	第3期用にルールを再調整してのスタンプカード実施とリピート利用の達成					
■リピート利用促進を目的としたポイント制スタンプ方法の活用	実施	達成						

平成28年度 横浜市長浜ホール 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数量目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

2 利用促進・利用者サービスの向上及びアイデア・ノウハウの一層の活用	6	観音堂かなホールを活かした録音サービス	■ホール音響装置を使用した有料録音サービスの提供	実施	達成	—	ホール本番での録音及び録音単独でのホール利用の達成	【成果】 ●音響に定評のあるホールの特性を活かしアピールするための録音サービスの提供の実施。 ●ロケーション及び歴史の建造物である施設を活かした撮影用PRの実践とPV撮影実現の達成。 ●音響効果を活かしての本施設及び他の施設のリハーサル需要への対応。 ●生の声や要望収集のための利用懇談会や利用者や接する機会での利用者ニーズ情報収集の実施。 ●職員全体で要望に対応するため、アンケート結果やヒアリング結果の共有を実施。	【評価できる点】 ・多くの市民に対して、施設が利用しやすくなるサービスを提供し、利用率の目標達成に貢献したことを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・「長浜ホール感謝祭」の実施に関しては、発表の場や機会の提供のみならず、利用団体へヒアリングを実施し、運営の改善に向けて継続的に実施していることを高く評価していますが、今後は、利用者の意見を踏まえ、より多くの市民の利用に繋がるよう、他の事業や企画に生かす等の具体的な取組の実現やそれに向けた検討の実施を期待します。	
	7	ロケーションを活かした撮影のPR	■撮影のロケ地としての魅力の積極的な発信	実施	達成	—	ホームページ及び横浜コンベンションビューローとの連携による撮影ポイントPRの実施			
	8	リハーサル利用者の開拓	■コンサート出演者に向けたリハーサル利用需要の促進	実施	達成	—	長浜ホール並びに他施設での本番に向けたリハーサル利用獲得の達成			
	9	要望・苦情への対応	利用者アンケートとアンケート箱の設置の実施	■自由記載型の「ご意見箱」設置の実施	実施	達成	—	7/3開催長浜ホール感謝祭出演者への利用者アンケートの実施		
			■来場者アンケートの実施	■利用者懇談会の実施	実施	達成	—	7/3実施の達成		
			■利用者懇談会の実施と議事録の作成、情報の全職員への共有	■利用者懇談会の実施と議事録の作成、情報の全職員への共有	年1回実施	達成	—	議事録の共有データファイル設置によるスタッフ間の情報共有化		
			■その他のニーズ収集	■全職員の気づきメモ活用の実施	実施	達成	—	ニーズ取材や伝達手段としてのメモ活用の実施		
			■利用者や接する機会におけるヒアリングの実施	■利用者や接する機会におけるヒアリングの実施	実施	達成	—	利用者との直接的なヒアリング助行の実施		
	3 組織的な施設運営(職員の確保、配置及び育成)	10	文化施設運営の専門能力を有する職員と地域から登用したスタッフとの共同体制の下、「専門性」と「市民・施設利用者・地域」の方を融合させた組織構造をもって運営にあたり、共益を目指した効率的な管理運営に努めます。	■利用状況に応じた人員の配置と柔軟な対応の実施	実施	達成	—	職員1名・職員2名・舞台技術スタッフ1名・受付スタッフ5名の配置		
a.「予約システム」を習熟した人員の受付への常備1~2名配置				実施	達成	—	職員全員の予約システム並びに受付対応習熟の達成			
b.経験豊かな職員と舞台技術スタッフの配置と催事運営や舞台利用へのサポートとアドバイスの実施				実施	達成	—	ホール利用相談対応や本番対応の実施			
c.高齢者や障がい者の方への受付対応の実施(筆談対応セット、眼鏡、車椅子の貸出等)				実施	達成	—	筆談対応セット・眼鏡の受付への常備			
11		1期~2期にわたり、地域の文化団体、区民活動センター、学校、自治会、各種関係機関と定期的な情報交換を行って来た中で培われた協働・信頼関係をさらに深め、地域との連携体制を確固たるものにします。	■地域の団体との協働・信頼関係の継続と醸成	実施	達成	—	近隣在住のパート職員配置			
			■区民利用施設連絡会への参加	実施	達成	—	9/29参加の達成			
			■自治会・町内会や地域の諸団体の情報交換の場としての施設活用	実施	達成	—	平成28年度金沢区民利用施設連絡会参加の達成			
			■地域メディアを通じての広報活動の継続	実施	達成	—	地域諸団体による施設利用並びに館内掲示板活用の実施			
12		事業体の総合力をもって施設の運営管理・事業の企画実施はもとより、利用者の文化芸術活動への支援から、地域との連携までのすべての活動領域における支援を図る。	■事業体の総合力を生かした地域支援の実施	実施	達成	—	近隣在住のパート職員配置			
			■1期~2期の指定管理期間を通じて、本施設の管理運営に携わってきた事業体構成団体の継続	実施	達成	—	9/29参加の達成			
			■他の指定管理施設との情報や企画の共有による地域支援の実施	実施	達成	—	地域諸団体による施設利用並びに館内掲示板活用の実施			
			■協働によるイベント開催や検査室周回車列等	実施	達成	—	協働によるイベント開催や検査室周回車列等			
			■湘南浜メディアアド・湘南企業家・湘南共立による事業体構成団体継続の達成	実施	達成	—	湘南浜メディアアド・湘南企業家・湘南共立による事業体構成団体継続の達成			
			■1期~2期の指定管理期間を通じて、本施設の管理運営に携わってきた事業体構成団体継続の達成	実施	達成	—	1期~2期の指定管理期間を通じて、本施設の管理運営に携わってきた事業体構成団体継続の達成			
13	利用者へ向けて「顔の見える」運営体制でこれまでの経験と実績を最大限に発揮する。	■1期~2期の指定管理期間を通じて本施設の管理運営に携わってきた人員の継続	実施	達成	—	1期~2期の指定管理期間を通じて本施設の管理運営に携わってきた人員継続の達成				
		■全職員の日頃の接遇と緊急時の対応力の向上	実施	達成	—	防災訓練を通じての緊急時の対応力並びにペラップミーティング等での情報共有による日ごとの接遇向上の達成				
14	すべての職員が、民間企業ならではの適切なコスト感覚により、効率的な管理運営と、ホスピタリティー精神をもって「ノーマルと変わらない」接客サービスを提供する。	■全職員・スタッフに対する接遇・マナー研修及び個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施	実施	達成	—	個人情報研修の達成、接遇、マナー研修、コンプライアンス研修の実施				
		■常時在勤職員のサービス介助士2級資格所持の実施	実施	達成	—	サービス介助士2級資格所持研修参加の未達成				
		■全職員・スタッフに対する消防訓練及びAED講習の実施	実施	達成	—	消防訓練(10/11・2/27)、AED訓練(10/11)実施				
		■常時在勤職員への普通救命講習の実施	実施	達成	—	普通救命講習実施の未達成				
15	事業体各社のバックアップ体制による、施設の管理運営の支援	■事業体各社の持てるノウハウによる施設運営の実施	実施	達成	—	通常の業務以外に新たに事業体各社の持てるノウハウを活かす機会が生じず				
		■事業体各社が他の施設の指定管理運営やその他の施設運営により構築されたノウハウの本施設への適応の実施	実施	達成	—	通常の業務以外に新たに事業体各社の構築されたノウハウを活かす機会が生じず				
4 本市の重要施策を踏まえた取組	16	個人情報の適正な取り扱い	■個人情報保護への具体的な取組	実施	達成	—	個人情報保護関連トラブル回避の達成			
			■個人情報保護規定の周知	実施	達成	—	個人情報保護規定の周知			
			■全職員・スタッフへの個人情報保護規定の徹底周知と管理の実施	実施	達成	—	個人情報ファイルの施設化の達成			
	17	適正な情報公開	■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の「標準規定」に準拠した適正な情報公開の実施	実施	達成	—	標準規定に準拠した適正な情報公開の達成			
			■請求が行われた場合の情報公開の実施	実施	達成	—	請求に対する適正な情報公開の達成			
	18	人権尊重	■常に利用者の立場に立ち、利用者の意思及び人格を尊重した適切なサービスの提供し全ての利用者が安全、快適に利用できるよう努める	実施	達成	—	天候観測と耳マーク、筆談セットの受付への常時配置			
			■環境負荷の低減を考慮した物品調達に努める	実施	達成	—	LED等環境負荷低減に配慮した物品調達の実施			
	19	環境への配慮	■省資源化の徹底に努める	実施	達成	—	利用者へのゴミ持ち帰り徹底の実施			
■廃棄物の低減			実施	達成	—	省資源にらんだ備品購入の達成				
20	市内中小企業優先発注	■省エネルギーに配慮した施設運営に努める	実施	達成	—	空調・照明のこまめな発停の実施				
		■公園の景観維持・美化に努める	実施	達成	—	職員による花壇作りや除草作業の実施				
		■「横浜市内中小企業振興基本条例」の指針に沿った市内中小企業への優先発注の継続に努める	実施	達成	—	館内設備や音響・照明関連の市内中小企業への優先発注の達成				

平成28年度 横浜市長浜ホール 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目	H28年度計画	H28年度計画		実施状況		評価			
		達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価		
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)								
		1 施設及び設備の維持保全及び管理	1 保守点検・修繕における予防保全の推進	■予防保全を重視し、適切な点検・修繕の実施と施設の長寿命化への取組み	実施	達成	■施設の長寿命化を目標としたきめ細やかな修繕の実施	【成果】 ●1期からの指定管理実績に基づくリスク予測の継続と、事業体構成団体の有する保守点検・修繕能力を最大限に活かした施設の予防保全推進を実施。 ●J・V間の保守点検業務履行確認の実施。 ●施設を熟知しているからこそ可能な利用者の妨げとならない環境の維持管理を実施。 ●冷却塔レジオネラ菌発生時の対応を実施。 ●冷却塔レジオネラ菌発生時の対応を実施。 ●南部公園緑地事務所をはじめとする関連各所との緊密な連絡体制を構築。  【課題】 ●次年度冷却塔に消毒薬自動注入システムの導入を検討。 ●環境実化のための職員による除草作業の継続と工夫。 ●環境実化のための職員による花壇管理の継続と工夫。	【評価できる点】 ・冷却塔にレジオネラ菌が基準値を超えて発生した際、迅速かつ適切に、共同事業体と連携して対応したことを評価します。 ・また、公園施設として、職員の方の手によるこまめな除草等、施設の維持管理や利用者に対する快適な空間提供に向けて努めている姿勢を評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・共同事業体内で連携し、引き続き、適切な維持管理を求めます。
				■快適に利用できるための具体的な修繕計画の立案と実施	実施	達成	■利用者本位の修繕計画の立案並びに実施の達成		
				■点検結果のデータベース化と今後の修繕業務への反映	実施	達成	■点検結果のデータベース化と関係各所との情報共有化の達成		
		2 施設を熟知しているスタッフによる管理	2 施設を熟知しているスタッフによる管理	■舞台設備及び施設設備の保全・管理	実施	達成	■1か月の設備保守点検と立ち合いの実施		
				■1期からの指定管理実績に基づくリスク予測と施設の特徴に合わせた管理の実施	実施	達成	■1期からの事業体構成団体継続の達成		
				■日常点検および安全を第一に考えた保守点検の実施	実施	達成	■日常点検と月毎の定期保守点検の実施		
		3 利用者第一の環境維持管理	3 利用者第一の環境維持管理	■施設及び公園の環境の維持管理	実施	達成	■1か月の設備保守点検と立ち合いの実施		
				■清掃業務においては清潔感及び美観の維持に努め、ホール等貸出し時や催物の開催時は利用者の妨げとならないよう配慮	実施	達成	■冷却塔レジオネラ菌対応の実施		
				■職員自らの手による美観維持の励行	実施	達成	■職員による除草作業の実施		
				■花壇の維持管理と公園設備清掃の実施	実施	達成	■職員による花壇管理の実施		
				■関係各所との連携	実施	達成	■横浜市環境創造局等との連絡の達成		
■南部公園緑地事務所との緊密な連携と連絡体制構築の実施	実施			達成	■南部公園緑地事務所との連絡連携による公園環境整備の達成				
2 小破修繕への取組	4 不具合箇所の早期発見と早期補修	■日常点検による不具合箇所の早期発見に努める	実施	達成	■不具合箇所早期発見助行の実施	【成果】 ●ドア、便座、折りたたみ椅子等職員による不具合箇所の早期発見と早期補修の実現。  【課題】 ●修繕情報の職員間での共有化。	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、適切に業務が行われていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・長期保全の視点も踏まえ、引き続き、指定管理者において小破修繕の確実な実施を求めます。		
		■職員による軽微な不具合や応急処置の対応	実施	達成	■職員による軽微な修繕助行の達成				
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理	5 全職員・スタッフおよび利用者の安全意識(モラル)向上	■職員・スタッフ間の情報共有と啓発の実施	実施	達成	■月1回のスタッフミーティングと共有ファイルによる情報の共有化の実施	【成果】 ●職員・スタッフ間の情報共有強化を軸とした事故防止体制の確立。 ●施設内の巡回や監視カメラでの中央監視による防犯及び事故防止の達成。 ●駐車場等過去の経緯値による事故発生率の高い箇所を中心としたリスクマネジメントの実施。 ●職員退勤時の機械整備による防犯対策の実施。 ●個人情報取り扱いの徹底による関連トラブル回避の達成。 ●個人情報関連業務の完全内製化の実施。  【課題】 ●巡回チェックリスト運用結果の分析。 ●個人情報取り扱い強化と関連業務内製化の継続。 ●24時間監視及び利用者安全確保のための監視カメラでの中央監視と機械整備の継続及び事故発生時の検証の実施。	【評価できる点】 ・月1回、原則全スタッフを集め、施設の管理運営における情報共有を積極的に行っていることを高く評価します。 ・また、個人情報の漏洩事故がなかった等、適切に業務を行っていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。		
		■職員・スタッフ間の類似施設のアシデント例の情報共有の実施	実施	達成	■スタッフミーティングや共有データベースによるスタッフ間の状況共有の実施				
		■職員による定期的な施設内巡回の実施	実施	達成	■職員の定期的な巡回の実施(巡回チェックリストは未達成)				
		■巡回チェック表を用いた異常の有無のチェック	実施	達成	■混雑時の駐車場の巡回と適切な指導の実施の達成				
		■駐車場の定期的な巡回と適切な駐車指導の実施	実施	達成	■監視カメラによる常時中央監視の実施の達成				
	6 リスクマネジメントシステムの導入	6 リスクマネジメントシステムの導入	■監視カメラ等による中央監視の実施	実施	達成			■閉鎖時や職員不在の休憩時の常時機械整備実施の達成	
			■機械整備の実施	実施	達成			■閉鎖時や職員不在の休憩時の常時機械整備実施の達成	
			■閉鎖時や休憩時等、職員不在時の機械整備の継続	実施	達成			■過去の事故の原因・状況の分析、ヒューマンファクターに關しての調査	
			■過去の事故の原因・状況の分析、ヒューマンファクターに關しての調査	実施	-			■事故の原因・状況の分析、ヒューマンファクターに關しての調査が必要な事案なし	
			■事故災害の発生した原因究明と責任の明確化等の事後チェックの確実な実施	実施	-			■必要な事案なし	
7 個人情報を適切に扱い、個人情報漏えい事故を防止する	7 個人情報を適切に扱い、個人情報漏えい事故を防止する	■必要最小限な個人情報の取得と利用目的以外の個人情報利用の禁止ならびに法令の定める場合を除いた本人の同意なしでの個人情報の第三者への提供禁止の徹底	実施	達成	■個人情報流出の達成並びにクレーム0の達成				
		■本施設保有者の個人情報の外部への持ち出しの禁止	実施	達成	■個人情報の外部流出防止並びにクレーム0の達成				
		■個人情報関連業務の外部委託の禁止	実施	達成	■個人情報関連業務完全内製化の達成				
		■個人情報関連書類、記録媒体の鍵のかかる書庫への保存の実施	実施	達成	■個人情報関連書類の鍵のかかる書庫への保存の実施				
		■ユーザーID、パスワード、使用機器設定変更禁止、利用者の制限等によるパソコンのセキュリティ対策の実施	実施	達成	■個人情報漏洩防止のためのパソコンセキュリティ対策の実施の達成				
4 防災に対する取組	8 防災マニュアルの整備	■緊急時に迅速に対応できる防災マニュアルの整備	実施	達成	■防災マニュアル整備の達成	【成果】 ●全職員の安全意識の向上と事業体構成団体が保有する防災専門能力、及び金沢消防署と連携を加えた複合的な取り組みを実施。 ●金沢消防署の協力による消防訓練及びAED取り扱い訓練の実施。 ●ホール利用者在館時を想定しての避難誘導訓練の実施。 ●大規模災害を想定した緊急備品備蓄の実施及び継続。  【課題】 ●緊急備品備蓄の継続及び横浜市との連携の構築。 ●事業体構成団体や金沢消防署を通じての日々変化する防災関連情報の収集と共有化、防災マニュアル化への対応。 ●防災訓練、AED取り扱い訓練の継続。	【評価できる点】 ・緊急時に全職員が適切に対応できるよう、マニュアルの整備や防災訓練等を実施していることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・例年通りに防災訓練を行うのみならず、公共施設として想定しうる様々なケースに対応できる訓練の実施を検討することを期待します。		
		■「指定管理者災害対応の手引き」を踏まえた防災体制の確立と対応マニュアル作成の実施	実施	達成	■指定管理者災害対応の手引きを踏まえた防災体制の確立と対応マニュアル作成の実施				
		■金沢消防と連携した消防計画の策定	実施	達成	■金沢消防と連携しての消防計画の策定・実施の達成				
		■防火対策物・消防設備点検の実施	年2回実施	達成	B				
		■自衛消防組織による日常の防火防災への対応と火災発生時の初期消火の実施	実施	達成	■防災訓練による初期消火訓練並びに日常の防火防災対応助行の実施				
		■防災訓練	年2回実施	10/11・2/27実施	B				
9 消防計画の策定	9 消防計画の策定	■金沢消防と連携した消防計画の策定	実施	達成	■金沢消防と連携しての消防計画の策定・実施の達成				
		■防火対策物・消防設備点検の実施	年2回実施	達成	B				
		■自衛消防組織による日常の防火防災への対応と火災発生時の初期消火の実施	実施	達成	■防災訓練による初期消火訓練並びに日常の防火防災対応助行の実施				
		■防災訓練	年2回実施	10/11・2/27実施	B				
10 自衛消防組織の組成	10 自衛消防組織の組成	■自衛消防組織による日常の防火防災への対応と火災発生時の初期消火の実施	実施	達成	■防災訓練による初期消火訓練並びに日常の防火防災対応助行の実施				
		■防災訓練	年2回実施	10/11・2/27実施	B				
11 職員・スタッフに対する研修の実施	11 職員・スタッフに対する研修の実施	■防災訓練	年2回実施	10/11・2/27実施	B				
		■AED操作訓練の実施	年1回実施	10/11実施	B				
12 大規模災害への取組と緊急備品の整備	12 大規模災害への取組と緊急備品の整備	■大規模災害発生時の内閣府「事業継続計画(BCP)」に沿った防災マニュアルによる対応の実施	実施	達成	■内閣府「事業継続計画(BCP)」に沿った防災マニュアルによる対応の実施				
		■帰宅困難者や災害時の継続的施設運営をにらんだ緊急備品備蓄についての横浜市との協議及び整備の実施	実施	達成	B 緊急備品備蓄実施				

平成28年度 横浜市長浜ホール 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
IV収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 収支構造及び収支バランス		■空き施設有効利用をにらんだ、利用前2週間を経過したホールの利用料金の10%割引の実施	実施	-	10%割引についての時期及び方法の模索段階	<b>【成果】</b> ●リピーター獲得を狙ったスタンプカードサービス制度の継続と割引の実施によるリピーター獲得の達成。 ●第3期開始に合わせたスタンプカードの部分的制度改定及びスムーズな実施の達成。  <b>【課題】</b> ●ホール利用率が上がってきている中でホールの料金割引実施の必要性の検証。 ●ホールの利用率が上がっている中で、若年層向けサークル活動割引が不公平感を伴わないかを含めた具体的な方法及び告知方法についての検証。	<b>【評価できる点】</b> ・利用者への還元やリピーター利用の増加に向けて、スタンプカードサービスを継続し、利用率向上に寄与していることを評価します。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・リピーターや地域の利用者は多いものの、持続的な収入を確保するため、新たな利用者の獲得が必要と考えます。割引制度の検討のみならず、近隣の学校等へ営業や施設の認知度向上に向けた広報を行うなど、様々な取組の可能性の模索を期待します。
		■リピーター獲得のための、会館室、多目的ルーム、音楽練習室利用者へのスタンプカードサービス制度の実施	実施	達成	第3期にあたりルールを微調整してのスタンプカード制度継続と割引サービスの実施		
		■高校生～大学生の若年利用層拡大を促す区内学校利用、部・サークル活動への利用料15%割引の促進	実施	-	区内学校利用、部・サークル活動への利用料15%割引制度の時期及び方法模索段階		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造について	利用料収入、事業収入、その他収入(撮影等)の増収	長浜ホールを拠点とする新たな利用団体の創出	実施	達成	シャランワークショップ開催と利用団体創出の試みの実施	<b>【成果】</b> ●施設利用料：前年比97%・付帯設備使用料：前年比106%・事業収入その他：前年比176%・総額前年比110% ●利用団体創出を狙ったシャラン講座の開催を実施。 ●利用団体創出を狙ったゴスペルコーラスワークショップの次年度開催決定の達成。 ●施設の特徴を認知してもらうため音響に定評のあるホールでの録音サービスやリハーサル等の需要発掘の実施。 ●撮影ロケ地としての魅力をアピールするための発信の継続とPV撮影の達成。 ●ホールの稼働向上と地域の演奏家の技術向上を狙ったIHコマのピアノ貸出「エンジョイ!ピアノ」の実施。 ●「エンジョイ!ピアノ」実施による事業収入拡大の達成。  <b>【課題】</b> ●若年層にアピールするためのワークショップ開催への模索。 ●SNS等の需要に対する撮影・録音対応の実施。 ●「エンジョイ!ピアノ」継続の実施。	<b>【評価できる点】</b> ・利用者のニーズの対応や収入の確保に向けて、施設の空いた時間を活用した「エンジョイ!ピアノ」の継続実施を評価します。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・利用料収入の増加に向けて、施設への来館が少ない若年層を取り込むためのワークショップの実施や事業の見直し、新規事業の実施等が必要と考えます。 ・指定管理料のみに依存しない収入源として、撮影の受入等をおこなっていますが、施設の特徴を生かし、ニーズが想定される様々な相手方へ積極的な働きかけを行うことを期待します。
		■定期的なワークショップの開催	実施	達成	シャランワークショップ受講者による利用団体創出の試みの実施		
		■ワークショップの受講者を中心とした新たな利用団体の育成の実施	実施	達成	ホール以外の施設利用料に対するポイント制スタンプカードの実施とリピーター利用発掘の達成		
		■リピート利用促進を目的としたポイント制スタンプ方法の活用	実施	達成	空き施設活用「エンジョイ!ピアノ」等による事業収入拡大の達成		
		■事業収入の拡大	実施	達成	本館での練習利用や、練習するための利用、本館収容した施設での本番のためのリハーサル利用獲得の達成		
		■録音サービス、リハーサル活用等音響に優れている施設の特長を活かした利用層の拡大	実施	達成	地域情報誌の広報への活用やポスティング等による地域への認知度向上のための試みの実施		
		■地域への事業認知度向上をねらった広報活動の実施	実施	達成	その他の収入拡大への取組み		
■撮影ロケ地としての魅力の発信の実施	実施	達成	横浜コンベンションビューローとの連携やホームページによる撮影ロケ地としての魅力発信の実施				
3 経費削減等効率的運営の努力	マルテスタッフ制度の導入	効率的な人員配置による経費削減	実施	達成	複数の業務をこなすマルテスタッフ制による効率的な人員配置の達成	<b>【成果】</b> ●業務効率化を狙った複数の職種を担うマルテスタッフ制の導入を実施。 ●一括発注による経費削減を狙い他施設・本社と連携しての備品購入を実施。 ●光熱費削減のための職員による照明・空調のこまめな発停を実施。  <b>【課題】</b> ●経費削減のための電力会社やガス等の低廉で好サービスな会社の見直しの継続。	<b>【評価できる点】</b> ・経費削減に向けて、提案書の通り実施がなされていることを確認しました。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・設備等の不具合の早期発見にも繋がることから、引き続き、光熱水費の使用状況の注視等を求めます。
		■特定の業務だけでなく他の業務もこなすマルテスタッフ制を活用した人員削減の実施	実施	達成	職員による冷暖房温度調節の実施		
		■適切な冷暖房温度の設定	実施	達成	職員によるこまめな電源発停動作の実施		
		■利用活動の妨げにならない程度にこまめな電源の発停の動作	実施	達成	必要最小限な備品購入の実施		
		■備品・消耗品等の必要最小限な購入の実施	実施	達成	備品の当事業体が管理する他の指定管理施設との一括購入実施による費用削減の達成		
		■他施設・本社と連携した効率的な経費削減	実施	達成	施設・設備の健全による経費削減		
4 光熱水費等の経費削減	備品・消耗品の見直し、他施設との一括購入	■当事業体が管理する他の指定管理施設と連携することで備品の一括購入及び企画運営経費・広報宣伝費削減の実施	実施	達成	日常点検での不具合や破損等の早期発見・早期対応による修繕費削減の達成		
		■日常点検での不具合や破損等の早期発見による修繕費削減の実施	実施	達成	職員による小規模修繕や日常清掃の実施による経費削減の達成		
		■日常清掃の一部や小規模修繕を職員が担うことによる経費削減の実施	実施	達成			
5 備品・消耗品の見直し、他施設との一括購入	施設・設備の健全等	■日常点検での不具合や破損等の早期発見による修繕費削減の実施	実施	達成			
		■日常清掃の一部や小規模修繕を職員が担うことによる経費削減の実施	実施	達成			

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1						<b>【成果】</b> ●業務効率化を狙った複数の職種を担うマルテスタッフ制の導入を実施。 ●一括発注による経費削減を狙い他施設・本社と連携しての備品購入を実施。 ●光熱費削減のための職員による照明・空調のこまめな発停を実施。  <b>【課題】</b> ●経費削減のための電力会社やガス等の低廉で好サービスな会社の見直しの継続。	<b>【評価できる点】</b> ・経費削減に向けて、提案書の通り実施がなされていることを確認しました。  <b>【改善が必要と考えられる点】</b> ・設備等の不具合の早期発見にも繋がることから、引き続き、光熱水費の使用状況の注視等を求めます。

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1						<b>【総括】</b> ミッション①「金沢区の文化拠点として区民文化センターの役割を担う」 ミッション②「利用・稼働を挙げて多くの市民の役に立つ」 ミッション③「地域と運動するためにサポーターを増やす」 第3期目の初年度としてミッションに取り組んだ結果、②についてはある程度結果を残し、①についても様々な成果が得られました。区民文化センターとしての役割は担いきれていないかもしれませんが、その道筋は見えてきたように思います。 ③は①②の延長上にあると捉えます。長浜企画委員について、内容と業務方法について再調整し、長浜タウンミーティングへの道筋をつけることが、来年度の大きな課題であると考えます。	第3期指定管理期間の初年度ではありますが、提案内容の実現に向けて、努力を行う姿勢が見られたことを高く評価します。平成28年度に実施できた取組は、継続をすとも、常に改善を行うことで、より良い施設運営の実施を期待します。実現ができていない取組についても、単年度で実現性を判断するのではなく、実施内容等の見直しや、地域、近隣の学校、他の文化施設、指定管理者内部、本市と連携するなどにより、提案内容の達成に向けた取組の継続を求めます。 また、長浜・並木・能見台等の施設に隣接した地域だけでなく、区全体や近隣区も視野に入れた事業展開や広報の実施を行うとともに、野口英世博士の功績等を通じて、地域や全国的な発信力を高めることを期待します。 施設が安定的に持続して運営を行うためには、事業・運営面共に若年層の取り込みが必須と考えます。事業の見直しや広報の強化等も含め、より多くの市民に愛される施設に向けた積極的な取組を行ってください。 施設管理に関しては、引き続き、日常的な管理と職員間や本市との情報共有を徹底することにより、適切に施設を維持管理することを求めます。